

2025年4月9日
アルプスアルパイン株式会社

新 Bluetooth®の規格に対応する測距評価キットの提供開始 -チャンネルサウンディング※¹機能をサポート-

アルプスアルパイン株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役 社長 CEO：泉英男、以下「アルプスアルパイン」）は、Bluetooth® Core 6.0 に新たに搭載された拡張機能であるチャンネルサウンディングをサポートする評価キットを 2025 年 5 月より提供開始します。また、このキットに搭載されている Bluetooth® Core 6.0 対応モジュールの量産を 2025 年度中に計画しています。



アルプスアルパイン独自の測位方式に関して

アルプスアルパインは 2020 年より Bluetooth® Low Energy を使用した高精度位置測位システム評価キットを提供しております。この高精度位置測位システム評価キットには独自開発のアルゴリズムが搭載されており、高いマルチパス耐性を有し、時速 10 km 程度で移動する測距も可能となっています。今回のチャンネルサウンディング評価キットにおいても、この独自のアルゴリズムを Bluetooth® Core 6.0 に標準化されている PBR (Phase-Based Ranging：位相ベース測距) ※²と RTT (Round Trip Time：往復タイミング) ※³の出力データと組み合わせることで、あらゆる環境の影響を考慮した高精度距離の評価が可能となります。

チャンネルサウンディング評価キットの概要

本評価キットは、受信装置であるアンカーと、送信装置であるタグ、および測距出力データを表示する

アプリケーション（ソフトウェア）で構成されており、アンカーとタグのデバイス間の距離を正確に測定するツールとなります。これは指定された 2 つのデバイス間で信号を送受信し、その信号の位相差や往復時間を利用して距離を算出します。

【仕様】

製品名	Bluetooth® Core 6.0 チャンネルサウンディング評価キット
システム提供台数	アンカー1台/タグ1台（標準） *アンカー、タグともに接続台数増可
最大測定距離	70m（見通し可能範囲）
検出精度	± 30cm（見通し可能範囲） *アンカー 1台構成時の測距精度
電源	アンカー：5V（USB 経由）
インターフェース	USB（UART）

【用途】

本評価キットは製品への適用性を評価できます。評価キットを使用することで、デバイス間の距離測定の精度やパフォーマンスをリアルタイムで確認できます。

また、チャンネルサウンディング技術を活用し、デジタルキーなどの想定ユースケースを検証できます。

今後の展望

チャンネルサウンディング機能の活用を考える様々な製品の導入検討として今回の評価キットを使用いただき、アルプスアルパインのモジュールが実装された製品が、人々の暮らしをさらに豊かにすることを目指し、今後はさまざまな分野での活用を提案していきます。

今後もアルプスアルパインでは、お客様の多様なニーズに応える製品ラインアップの拡充を進め、より高い価値を提供できるよう努めてまいります。

【チャンネルサウンディング評価キットイメージ動画】

<https://youtu.be/NX7ns8ov5mk>

以上

※1 従来の電波強度 RSSI を利用し距離を測定検出する方法を発展させ、精度と信頼性の向上を実現させたもの。

※2 送信機と受信機 2 つのデバイス間の距離を測定する技術。信号の位相差を利用し距離を計算。

※3 送信機から送信された信号が受信機に届き、受信機からの応答信号が送信機に戻るまでの往復時間を基に距離を計算。

＜お問い合わせ先＞

アルプスアルパイン株式会社コーポレートコミュニケーション部 PR 課

電話 050-3613-1581（部門直通）

E-mail alpsalpine-pr@alpsalpine.com